

【図面編：体育館などを利用した避難所の設営例】

男女のニーズの違いなど、様々な立場の人たちへの配慮が必要です。
「チェックシート編」と合わせて活用してください。

下着などは同性が配布
(またはそれぞれの専用スペースで)

避難所でのザワザワした
雰囲気避け、心を落ち着
かせるための静かな場所。

簡易ベッドなどを設置、
介助のために幅広く利用。

視覚障害の方は、自分の
位置が分かるように壁際へ。

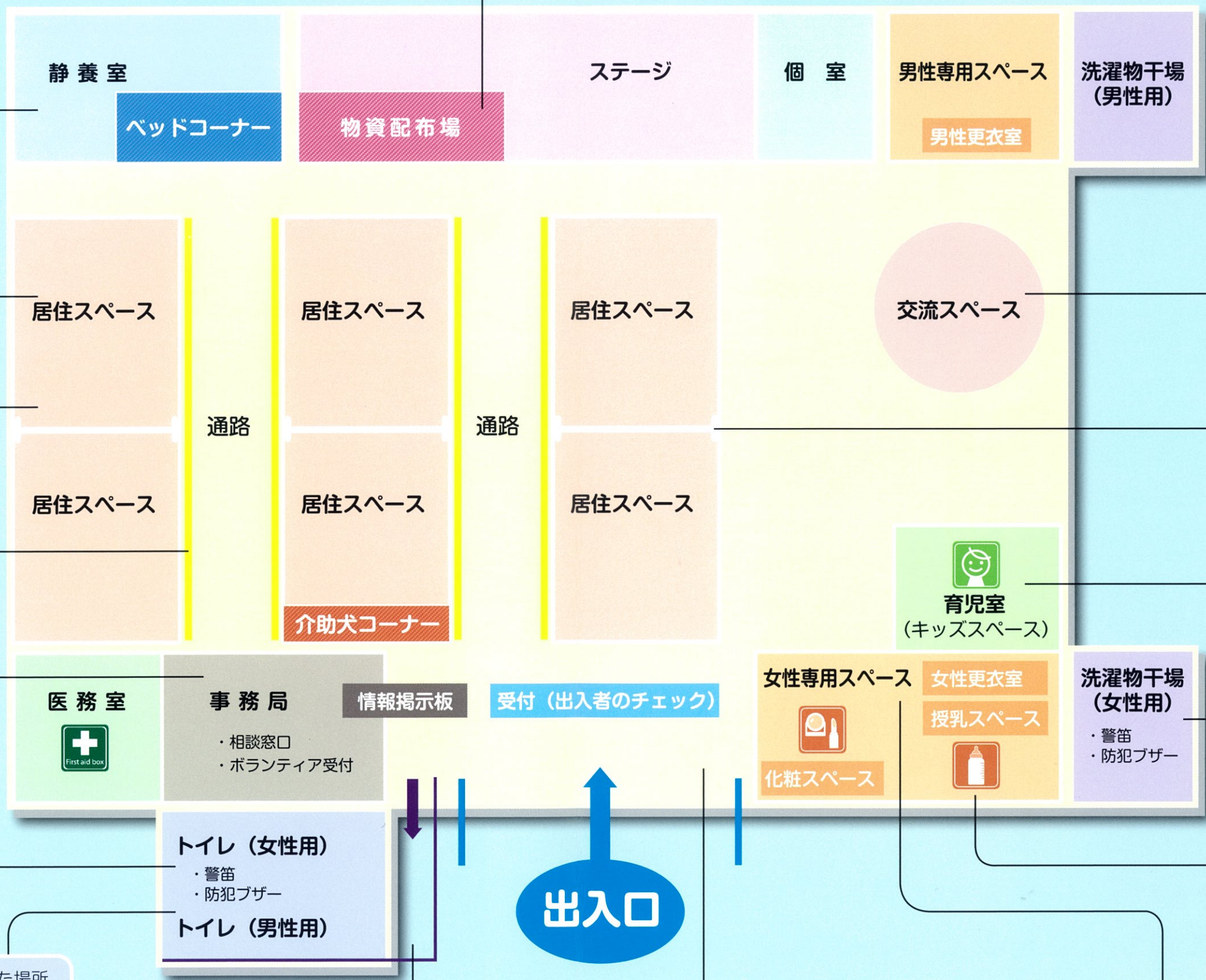
通路部分にライン（夜間
に光るもの）を貼る。
通路幅は、車いすが通れ
る110cm程度が望ましい。

男女混成で避難所内外の
合同巡回を随時実施。
本部と巡回班とは、トラ
ンシーバーなどで常に連
絡。（特に夜間）

トイレの個室数の比率は
男性：女性 = 1：3が望
ましい。

女性や子どもの安心・安全に配慮した場所、
照明、通路を確保。
男性小用の出入口側は、母親が子どもに付
き添えるように「幼児優先」。

パーティション等で避難所外部から
直接トイレに行けない動線確保。



誰もが気軽に交流できる
雰囲気をつくる。
● お茶
● 将棋など娯楽用品

プライバシーに配慮し
て、居住スペースには仕
切りを立てる。

子どもの遊び場
夜泣きしたときにも使用。

男女別の洗濯物干場、傘
などを使い、外から見
えないようにすると、下着
などが気兼ねなく干せる。

授乳室を設ける。
● 授乳用品、授乳ケープ
● 女性相談にも利用

● 車イスの方など、段差に配慮する。
● 入所者、ボランティア、来訪者は
識別名札を着用。

昼夜を問わず安心して使えるよう、
職員の常駐スペース付近や、なるべく
明るい場所に設置。